

新春のごあいさつ

飯館村長 菅野典雄



あけましておめでとうございます。

村民の皆様には、ご家族おそろいで健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今、日本は変革の時代とされていますが、飯館村も昨年は正に大きな変動の年でありました。10年ぶりの冷害により、農家は大打撃を受け、農家のみならず村の経済に与える影響は大変大きいものでした。

さらに合併問題にもゆれた1年でした。

合併については、昭和31年の大館村・飯曾村の合併以来、約50年、半世紀を経て、また大きな国の流れの中にさらされた訳です。昨年中には結論に至りませんでした。幸い村民の方々には県内一真剣に合併問題に取り組んでいただいたことが、必ずや将来あらゆる形で生きてくると思われます。村民の皆様にかかる感謝を申し上げると共に合併懇談会で話をさせていただいたように、決まった方向に皆で進む努力を切に願います。

昨年は、まだ完成をみていませんが、飯樋小学校の「楽しい学び舎」づくりや、特別養護老人ホームの40床増床工事、さらに念願であった芦原のトンネル工事など、村議会や村民の皆様のご理解ご支援をいただき、懸案となっていた大事業に着手することができました。

今年は、産業振興事業として、草野牧場に堆肥センターや、二枚橋地区に大型イチゴ栽培ハウスが完成予定です。飯樋小学校の北・西校舎改築そして少子化対策として草小の空き教室を利用するの預り保育・学童保育の一体化を計る計画ももっているところです。以上のような形に表れる事業のみならず、村民の生活を安定させ、安心して暮らせる環境づくり、さらに、この地にすむ者としての自信と誇りがもてるような事業もできるだけ多く取り入れていければと考えているところです。

いずれにしても、第5次総合振興計画を現在つくっていたと思いますが、その柱である「スローライフ」いわゆる「まδειライフ」の理念を十分に生かせるようにしていかなければと考えています。つまり「ていねいに」「手間暇を惜しまず」「時間をかけて」「念入りに」「大切に」「じっくりと」「心を込めて」「つつましく」の心を持ちながら、この地の良さや自分の人生の大切さを十分満喫できる環境づくりに励んでいくつもりです。村民の皆様の変わらぬご支援ご協力そして協働をよろしく願います。

日本の大きな転機の際に飯館村の首長として仕事をさせていたいただいていることの重大さを、十分心にとめ、村民のために最大の努力と情熱を傾けていくことを、新年に当り、お約束させていただきます。

今後1年、皆様のご家庭に幸せが訪れ、健康で過ごされるよう、心よりお祈りいたしまして、新年のあいさついたします。